



## 平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クロス・マーケティンググループ  
コード番号 3675 URL <http://www.cm-group.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO

(氏名) 五十嵐 幹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 小野塚 浩二

TEL 03-6859-2250

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日

平成27年9月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	7,084	75.2	539	114.9	526	108.6	405	260.6
26年12月期第2四半期	4,042	43.1	251	△34.7	252	△37.0	112	△51.2

(注)包括利益 27年12月期第2四半期 482百万円 (190.4%) 26年12月期第2四半期 166百万円 (△28.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	22.49	—
26年12月期第2四半期	6.24	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	8,769	3,282	35.7
26年12月期	7,872	2,897	34.5

(参考)自己資本 27年12月期第2四半期 3,140百万円 26年12月期 2,714百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	2.25	—	2.25	4.50
27年12月期	—	1.50	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	2.20	3.70

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,733	81.0	945	76.3	900	72.6	476	93.9	26.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期2Q	18,031,164 株	26年12月期	18,031,164 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

27年12月期2Q	186 株	26年12月期	186 株
-----------	-------	---------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期2Q	18,030,978 株	26年12月期2Q	18,030,998 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。
2. 四半期決算補足説明資料は、当社ホームページ(<http://www.cm-group.co.jp>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社の当第2四半期連結累計期間の業績は、下表のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	増減額 (増減率)
売上高	4,042	7,084	3,041 (75.2%)
営業利益	251	539	288 (114.9%)
経常利益	252	526	274 (108.6%)
四半期純利益	112	405	293 (260.6%)

## (リサーチ事業)

当第2四半期連結累計期間のリサーチ事業におきましては、国内の既存事業会社については、概ね前年同期と同水準の売上高となりましたが、今期より新規連結を開始しているKadence社及びリサーチ・アンド・ディベロプメント社の売上寄与により、前年を大幅に上回る売上高となりました。

セグメント利益(営業利益)につきましては、原価管理の徹底及び人員採用計画をコントロールした結果、売上総利益が増加するとともに、新規連結子会社が寄与したことにより、前年同期を上回る結果となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,242百万円(前年同四半期比87.0%増)、セグメント利益(営業利益)は887百万円(前年同四半期比37.6%増)となりました。

## (ITソリューション事業)

ITソリューション事業につきましては、売上高については、積極的な営業展開による新規顧客に加え、既存顧客から継続的に案件受注出来ていることから、売上・受注ともに前年を上回る水準となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は814百万円(前年同四半期比5.5%増)、セグメント利益(営業利益)は71百万円(前年同四半期比42.3%減)となりました。

## (その他の事業)

その他の事業としてUNCOVER TRUTH社が展開する「WEBマーケティング事業」につきましては、顧客の開拓に注力した結果、着実に顧客数が増加したことにより、前年を大幅に上回る売上高となりました。

セグメント利益(営業利益)につきましては、成長のための人員増加にともなう人件費・採用費等の増加により、営業損失を計上しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は110百万円(前年同四半期比119.9%増)、セグメント損失(営業損失)は54百万円(前年同四半期は40百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、資産については、流動資産が4,899百万円(前連結会計年度末比735百万円増)となりました。主な項目としては、現金及び預金1,843百万円、受取手形及び売掛金2,118百万円となっております。固定資産は3,870百万円(前連結会計年度末比161百万円増)となりました。主な項目としては、建物298百万円、ソフトウェア294百万円、のれん2,117百万円、関係会社株式234百万円となっております。その結果、総資産は8,769百万円(前連結会計年度末比897百万円増)となりました。

負債については、流動負債が4,915百万円(前連結会計年度末比572百万円増)となりました。主な項目としては、買掛金885百万円、短期借入金2,278百万円となっております。固定負債は572百万円(前連結会計年度末比60百万円減)となりました。主な項目としては、長期借入金360百万円、資産除去債務107百万円となっております。その結果、負債は5,487百万円(前連結会計年度末比512百万円増)となりました。

純資産は3,282百万円(前連結会計年度末比385百万円増)となりました。主な項目としては利益剰余金が2,493百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月通期の連結業績予想につきましては、平成27年2月19日に公表しました連結業績予想から変更はございません。

当社の業績予想は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、季節要因等を反映して作成しております。今後、業績予想に修正が見込まれる場合には、適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、従来、持分法適用関連会社でありました株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント及び株式会社R&Dフィールドプロダクションは、株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメントの株式を追加取得したことにより子会社となりました。

また、当第2四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社メディリード、株式会社ディーアンドエム及びUncover Truth Asia Pasific Pte.Ltd. の3社を連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(法定実効税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率等が変更されることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率は、従来の35.6%から平成28年1月1日以降に開始する連結会計年度より33.1%に、また、平成29年1月1日以降に開始する連結会計年度より32.3%に変更しております。

その結果、繰延税金資産が7,058千円、繰延税金負債が3,560千円それぞれ減少し、法人税等調整額が4,410千円、その他有価証券評価差額金が912千円それぞれ増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,407,380	1,842,544
受取手形及び売掛金	1,799,716	2,117,615
仕掛品	379,959	353,665
繰延税金資産	127,355	142,081
その他	451,290	445,311
貸倒引当金	△1,674	△2,001
流動資産合計	4,164,026	4,899,215
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	294,789	298,378
工具、器具及び備品(純額)	195,248	177,580
その他(純額)	6,341	11,727
有形固定資産合計	496,378	487,685
無形固定資産		
ソフトウェア	218,073	293,515
のれん	2,056,460	2,117,432
その他	61,543	21,441
無形固定資産合計	2,336,076	2,432,388
投資その他の資産		
投資有価証券	92,774	117,548
関係会社株式	334,991	233,843
繰延税金資産	74,282	74,772
その他	373,608	523,332
投資その他の資産合計	875,654	949,495
固定資産合計	3,708,108	3,869,569
資産合計	7,872,134	8,768,783

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	897,885	884,652
短期借入金	1,831,293	2,278,403
1年内返済予定の長期借入金	320,000	320,000
1年内償還予定の社債	—	40,000
未払法人税等	208,097	311,503
繰延税金負債	2,525	7,771
賞与引当金	140,346	192,240
その他	943,083	880,568
流動負債合計	4,343,228	4,915,136
固定負債		
社債	—	20,000
長期借入金	520,000	360,000
退職給付に係る負債	—	67,888
繰延税金負債	13,746	5,707
資産除去債務	93,600	106,510
その他	4,319	11,402
固定負債合計	631,664	571,506
負債合計	4,974,893	5,486,642
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	274,402	274,402
資本剰余金	243,718	243,718
利益剰余金	2,128,026	2,492,940
自己株式	△72	△72
株主資本合計	2,646,074	3,010,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,103	18,186
為替換算調整勘定	50,260	110,436
その他の包括利益累計額合計	68,363	128,623
少数株主持分	182,804	142,530
純資産合計	2,897,241	3,282,141
負債純資産合計	7,872,134	8,768,783

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,042,310	7,083,581
売上原価	2,532,677	4,081,151
売上総利益	1,509,633	3,002,430
販売費及び一般管理費	1,259,031	2,463,903
営業利益	250,602	538,527
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,103	1,534
持分法による投資利益	2,798	8,375
その他	1,233	5,691
営業外収益合計	5,134	15,600
営業外費用		
支払利息	2,514	10,826
為替差損	475	16,154
その他	402	812
営業外費用合計	3,390	27,792
経常利益	252,345	526,335
特別利益		
固定資産売却益	—	432
負ののれん発生益	—	233,850
子会社株式売却益	475	—
投資有価証券売却益	159	—
その他	—	5,557
特別利益合計	634	239,839
特別損失		
固定資産除却損	7,442	14,542
段階取得に係る差損	—	68,094
その他	—	960
特別損失合計	7,442	83,597
税金等調整前四半期純利益	245,538	682,577
法人税、住民税及び事業税	128,227	270,001
法人税等調整額	△10,835	△1,593
法人税等合計	117,392	268,408
少数株主損益調整前四半期純利益	128,146	414,169
少数株主利益	15,693	8,685
四半期純利益	112,452	405,484

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	128,146	414,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	490	155
為替換算調整勘定	37,334	67,808
持分法適用会社に対する持分相当額	18	△72
その他の包括利益合計	37,842	67,891
四半期包括利益	165,987	482,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,534	465,744
少数株主に係る四半期包括利益	22,454	16,316

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	245,538	682,577
減価償却費	109,597	115,837
のれん償却額	25,300	76,830
負ののれん発生益	—	△233,850
段階取得に係る差損益(△は益)	—	68,094
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△2,063
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,123	51,894
移転損失引当金の増減額(△は減少)	△6,903	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,541	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△2,464
受取利息及び受取配当金	△1,103	△1,534
支払利息	2,514	10,826
為替差損益(△は益)	△337	△158
投資有価証券売却損益(△は益)	△159	—
子会社株式売却損益(△は益)	△475	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△432
固定資産除却損	7,442	14,542
持分法による投資損益(△は益)	△2,798	△8,375
売上債権の増減額(△は増加)	48,815	110,631
たな卸資産の増減額(△は増加)	△33,285	157,477
仕入債務の増減額(△は減少)	△65,205	△161,176
その他	58,575	△315,454
小計	410,182	563,201
利息及び配当金の受取額	1,103	1,247
利息の支払額	△3,965	△10,817
法人税等の支払額	△178,144	△67,954
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,176	485,677
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△128,070
定期預金の払戻による収入	—	128,070
投資有価証券の売却による収入	306	—
投資有価証券の取得による支出	△13,995	△21,279
子会社株式の取得による支出	—	△101,413
子会社の設立による支出	—	△18,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	138,390
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△398	—
有形固定資産の取得による支出	△173,007	△38,310
無形固定資産の取得による支出	△78,884	△81,124
貸付けによる支出	△1,990	△270
貸付金の回収による収入	2,350	1,090
敷金の差入による支出	△356,967	△3,951
敷金の回収による収入	—	20,020
その他	397	△2,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△622,188	△107,097

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△82,404	85,888
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△44,892	△160,000
社債の償還による支出	—	△20,000
自己株式の取得による支出	△31	—
少数株主からの払込みによる収入	—	300
配当金の支払額	△30,052	△40,570
その他	—	△1,505
財務活動によるキャッシュ・フロー	842,621	△135,887
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,406	8,074
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	452,015	250,766
現金及び現金同等物の期首残高	779,355	1,407,380
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,231,370	1,658,147

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リサーチ事業	ITソリューション事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,333,766	668,366	40,177	4,042,310	—	4,042,310
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,428	103,681	10,000	117,110	△117,110	—
計	3,337,195	772,048	50,177	4,159,420	△117,110	4,042,310
セグメント利益又は損失(△)	644,739	122,718	△40,049	727,408	△476,807	250,602

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△476,807千円は、セグメント間取引消去708千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△477,515千円が含まれております。全社費用等は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用等であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リサーチ事業	ITソリューション事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,239,773	733,468	110,341	7,083,581	—	7,083,581
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,271	80,689	—	82,960	△82,960	—
計	6,242,044	814,157	110,341	7,166,541	△82,960	7,083,581
セグメント利益又は損失(△)	887,406	70,828	△54,370	903,864	△365,337	538,527

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△365,337千円は、セグメント間取引消去168千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△365,505千円が含まれております。全社費用等は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用等であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「リサーチ事業」において、株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメントの株式を追加取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては233,850千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

「リサーチ事業」において、当第2四半期連結会計期間において、Kadence International Business Research Pte. Ltd. の株式を追加取得したことにより、新たにのれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において86,856千円であります。